

平成30年9月11日
北海道電力株式会社

節電のお願いについて

平成30年北海道胆振東部地震に伴う火力発電所の緊急停止により、北海道全域の約295万戸のお客さまが停電となり、大変なご不便をおかけしてしまう事態が発生しました。改めて、深くお詫び申し上げます。

こうした状況を受けて、水力発電所や火力発電所を再起動させるとともに、本州からの電力融通も受けて供給力確保に努めました。

しかしながら、毎日の電力需要のピークに十分対応可能と言える状況ではなく、お客さまに電気を安定してお届けすることが非常に厳しい状況です。

このため、お客さまにおかれましては、節電コア時間帯（平日朝8時30分～夜8時30分）において、平常時よりも2割の節電をお願いいたします。

お客さまには電力復旧までの間、大変なご不便とご迷惑をおかけし、まことに申し訳ございませんが、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上

<節電の取組に関する緊急メッセージ>

命と暮らしを守るため北海道が一丸となって2割の節電を

道民・企業のみなさまへ

本年9月6日に発生した北海道胆振東部地震に伴い、一時、北海道全域にも及んだ停電は、いまだ、道民の暮らしや産業活動に大きな影響を与えています。

計画停電や再度の突発的な停電が北海道全域で生じれば、復旧途上にある道民の皆様への暮らしや企業活動への影響は甚だ大きく、そうした事態をなんとしても回避しなければならないと考えております。

今般、国から、「**平常時よりも2割の節電**を目指していただくようお願いします」との要請がありました。

いまなお多くの方々に大変なご不便をおかけしている中ではありますが、私としては、**道民の皆様への命と暮らしを守るため、北海道が一丸となって2割の節電**に取り組んでいかなければならないと考えています。

もとより道自身も需要者として最大限の節電に取り組みます。また、暮らしや産業への影響緩和に全力で取り組めます。

皆様には、どうか体調を崩されないようご留意いただきながら、できる限りの節電に取り組んでいただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

平成30年9月9日

北海道知事 高橋 はるみ

